

1. 件名：高経年化した発電用原子炉の安全規制に関する検討チームに関する面談（7）
2. 日時：令和5年4月20日（木）13：30～15：45
3. 場所：原子力規制庁8階会議室
4. 出席者（※一部テレビ会議システムにて参加）：

原子力規制庁

技術基盤グループ 技術基盤課 照井課長補佐

システム安全研究部門 小嶋上席技術研究調査官

原子力規制部 原子力規制企画課 藤森企画調査官、伊藤係長、今田係員

審査グループ 実用炉審査部門 塚部上席安全審査官

関西電力株式会社

原子力事業本部 原子力発電部門 保全計画グループ マネジャー 他10名※

原子力エネルギー協議会 部長 他1名

5. 要旨：

- 原子力規制庁から、第4回高経年化した発電用原子炉の安全規制に関する検討チーム（以下「検討チーム」という。）で示した資料に関する質問・意見等の有無を確認すると共に、第5回検討チームでは原子力規制庁のみでの議論を行う予定であるため、第6回検討チームに向けての資料準備を進めるよう伝達した。
- 原子力事業者等から、第4回検討チームで示された資料についての質問・意見等については現在取りまとめているところである旨、及び第6回検討チームに向けた資料作成について了解した旨の回答があった。
- 原子力事業者等から、発電用原子炉施設の劣化の状態を把握するための点検に関して、保安規定に基づく保全及び点検に関する社内標準類の体系について説明があった。
- 原子力規制庁から、説明のあった保全及び点検に関する原子力事業者における取組を踏まえて、長期施設管理計画での記載を検討するよう伝達した。
- 原子力事業者等から、了解した旨の回答があった。

6. 配布資料

資料 なし